



平成 23 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 テ イ ツ ー
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 堀 久 志 (JASDAQ・コード 7610)
問 合 せ 先	取 締 役 副 社 長 荒 井 薫
電 話 番 号	0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

## 株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門の会社分割による 株式会社カジ・コーポレーションへの承継について

当社は、平成 23 年 7 月 14 日に発表いたしました「アイ・カフェ事業部門の譲渡に関する基本合意締結のお知らせ」にてお知らせいたしましたが、平成 23 年 8 月 10 日開催の取締役会において、譲渡の具体的な方法として、下記のとおりアイ・カフェ事業部門を会社分割し、株式会社カジ・コーポレーションに承継することを決議しましたので、お知らせいたします。なお、本件に伴って、当社におけるアイ・カフェ事業部門を廃止いたしますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 会社分割の目的

当社は、お客様に快適な時間と空間を提供する新時代のインターネット・コミック・カフェとして、2002 年 2 月に『アイ・カフェ』第 1 号店（岡山本店）を出店しました。ハイスペック PC による光回線でのインターネット、フリーフード&フリードリンク、数万冊のコミックや高級マッサージチェアを搭載した明るい店内の娯楽施設は、当時としては非常に斬新なコンセプトであると反響を呼び、全国規模でインターネットカフェ業界が台頭する火付け役となり、2011 年 7 月末現在で直営店 15 店、FC 店 14 店と店舗数を拡大してまいりました。

その後、類似したコンセプトの競合他社店舗が乱立し、当社の一部『アイ・カフェ』店舗も厳しい経営状態にみまわれましたが、長年変わらぬ運営方針「お客様に快適な時間と空間を提供する」を貫いた結果、足元業績につきましては順調に推移しておりました。そのような中、当社の『アイ・カフェ』コンセプトに強く共感いただいた株式会社カジ・コーポレーションより、当該事業の移転について誠意ある打診をいただいたことから、当社新経営体制のもと既存政策の抜本的な見直しを図り、経営資源の選択と集中を推進することとし、『アイ・カフェ』の発展を目的として、当該事業部門（以下、「アイ・カフェ事業部門」という）を会社分割し、株式会社カジ・コーポレーションに承継することに合意いたしました。

#### 2. 会社分割の要旨

##### (1) 分割方式

株式会社テイツーを分割会社とし、株式会社カジ・コーポレーションを承継会社とする吸収分割となります。なお、分割会社である当社について本件吸収分割は、会社法第 784 条第 3 項の規

定による簡易分割に該当することから、吸収分割契約に関する株主総会の承認を得ずに、本件吸収分割を行うこととなります。

## (2) 分割の日程

分割決議取締役会	平成 23 年 8 月 10 日 (両社)
分割承認臨時株主総会	平成 23 年 8 月 10 日 (カジ・コーポレーション)
分割契約締結	平成 23 年 8 月 10 日 (両社)
分割の予定日 (効力発生日)	平成 23 年 9 月 12 日 (予定)

## (3) 分割の対価

分割の対価として、株式の割当は行わず、金銭対価として 436 百万円となる予定です。

## (4) 分割により減少する資本金等

該当事項はありません。

## (5) 分割の対価算定根拠等

### ① 算定の基礎

当社は、カジ・コーポレーションとの間でアイ・カフェ事業部門の会社分割に伴う交渉、協議をするに先立ち、株式会社新生銀行（以下、「新生銀行」という）に対して、第三者の立場から、本事業の価値算定を依頼しました。

新生銀行は、インカムアプローチを採用し、同アプローチにおいて最も一般的な手法であるディスカウント・キャッシュ・フロー法（以下、DCF法）および類似公開会社比較法により、本事業の価値算定を実施しました。

評価方法	金銭対価の評価レンジ
DCF法および類似公開会社比較法	349 百万円～451 百万円

新生銀行は、アイ・カフェ事業部門の価値算定に際して、当社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則として採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、すべて正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っていません。新生銀行は、アイ・カフェ事業部門にかかる各資産及び負債（簿外資産及び負債、その他偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。新生銀行の本事業の価値算定は平成 23 年 8 月 2 日現在までの情報及び経済条件を反映したものであり、また、アイ・カフェ事業部門の財務予測については、当社経営陣により現時点で得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。新生銀行が提出したアイ・カフェ事業部門の価値算定結果は、本件取引における金銭対価の公正性について意見を表明するものではありません。また、アイ・カフェ事業部門の価値算定の基礎となった前提が変わる時は算定結果も影響を受ける場合があります。

### ② 算定の経緯

上記記載のとおり、当社は新生銀行に分割対象事業について価値算定を依頼し、算定結果の提出を受けました。当社は当該第三者機関による算定結果を参考に、財務の状況、業績予想等の要因を総合的に勘案し、慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に上記の金額対価が妥当であると

判断に至り合意いたしました。

③ 算定機関との関係

該当事項はありません。

(6) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

今回の分割における新たな新株予約権の発行はありません。なお、承継会社に承継される従業員に対して、分割の効力発生日前に発行された分割会社の新株予約権は失効されることとなります。

(7) 承継会社が承継する権利義務

当社がカジ・コーポレーションと締結した、分割する部門の事業に係る権利義務および契約上の地位を承継対象とします。

(8) 債務履行の見込み

効力発生日以降における当社およびカジ・コーポレーションが負担すべき債務については、履行の見込みに問題がないものと判断しております。

3. 分割当事会社の概要（平成 23 年 2 月 28 日現在）

(1) 商号	株式会社テイツー	株式会社カジ・コーポレーション
(2) 事業内容	古本、TVゲームソフト・ハード、DVD・CD等の販売、買取およびレンタル業務、インターネット・コミック・カフェの運営、ECサイトの運営等	ビデオ・DVD・CDレンタル、ゲームソフト・玩具等の販売、カラオケボックスおよびインターネット・コミック・カフェの運営等
(3) 設立年月日	平成 2 年 4 月 16 日	昭和 46 年 4 月 1 日
(4) 本店所在地	岡山県岡山市北区今村 650 番	愛知県一宮市三ツ井二丁目 28 番
(5) 代表者の役職および氏名	代表取締役社長 堀 久志	代表取締役社長 梶 喜代三郎
(6) 資本金の額	1,165 百万円	302 百万円
(7) 発行済株式数	551,400 株	318,984 株
(8) 事業年度の末日	2 月末日	2 月末日
(9) 従業員数	450 名 (単体)	271 名 (単体)
(10) 主要取引先	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント (株)コナミデジタルエンタテインメント その他	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント (株)第一興商 (株)エクシング その他
(11) 大株主および持株比率	(株)ワイ・エイ・ケイコーポレーション 20.06% CCC(株) 14.07%	梶 喜代三郎 27.80% あいぎん未来創造ファンド投資事業有限組合 6.58%
(12) 主要取引銀行	(株)山陰合同銀行 (株)三菱東京UFJ銀行 (株)中国銀行	(株)三菱東京UFJ銀行 (株)商工組合中央銀行 (株)中京銀行
(13) 当事会社間の関係等	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者へ該当状況ともにございません。	

(14) 最近3年間の業績 (単位: 百万円)						
	株式会社テイツー (連結)			株式会社カジコーポレーション (単体)		
	平成21年 2月期	平成22年 2月期	平成23年 2月期	平成21年 2月期	平成22年 2月期	平成23年 2月期
総 資 産	11,326	11,335	11,323	6,875	6,923	6,903
純 資 産	4,702	5,318	5,534	770	896	1,020
売 上 高	41,593	41,760	39,689	13,138	12,805	13,388
営 業 利 益	895	1,206	892	382	385	344
経 常 利 益	845	1,124	870	276	300	283
当 期 純 利 益	138	741	387	71	107	106
1株当たり当期純利益(円)	274.66	1,450.66	748.57	223.29	336.48	332.41
1株当たり配当金(円)	260.00	300.00	260.00	40.00	40.00	40.00
1株当たり純資産(円)	9,034.67	10,048.21	10,478.80	2,415.29	2,809.08	3,199.72

#### 4. 分割する事業部門の概要

##### (1) 分割する部門の事業内容

- ・インターネット・コミック・カフェ『アイ・カフェ』直営店の運営
- ・『アイ・カフェ』FCのフランチャイズ本部運営

##### (2) 分割する部門の経営成績 (単位: 百万円)

	アイ・カフェ事業部門(a)	当社23年2月期実績(b)	比率(a/b)
売 上 高	1,733	38,897	4.6%
売 上 総 利 益	163	9,963	1.6%
営 業 利 益	65	894	7.4%

##### (3) 分割する資産、負債の項目および金額 (平成23年5月31日現在、単位: 百万円)

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流 動 資 産	20,670	流 動 負 債	2,508
固 定 資 産	603,312	固 定 負 債	16,166
合 計	623,982	合 計	18,675

#### 5. 会社分割後の上場会社の状況

(1)	商 号	株式会社テイツー
(2)	事 業 内 容	古本、TVゲームソフト・ハード、DVD、CD等の販売、買取およびレンタル業務、ECサイトの運営等
(3)	本 店 所 在 地	岡山県岡山市北区今村 650 番
(4)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀 久志
(5)	資 本 金 の 額	1,165 百万円
(6)	事 業 年 度 の 末 日	2 月 末 日
(7)	純資産および総資産	未定

## 6. 会計処理の概要

分割効力発生日において、4. (3) 記載の分割する資産と分割する負債の差額を2. (3) 記載の対価で分割承継する予定です。これにより、分割する資産・負債の簿価と分割対価との差額が特別損失として計上される予定であり、確定次第お知らせします。

## 7. 今後の見通し

本事業部門の会社分割および承継に伴って、諸契約の引継ぎなどを予定しており、その影響額については現在調査中です。従って、当社の業績に与える影響は未確定であり、確定次第お知らせいたします。

以 上